

記述情報の開示の好事例集2024 金融庁 2024年12月5日 (更新)

投資家・アナリスト・有識者が期待する開示を充実化させるための取組み

投資家・アナリスト・有識者[※]が期待する開示を充実化させるための取組み

投資家・アナリスト・有識者が期待する開示を充実化させるための取組み

- 開示検討の初期段階からCEOやCFO、経理部等が連携し、開示に関する取組みを推進することが充実した開示を行うにあたり重要
- 開示に前向きな企業であることを示す方策としては、開示タイミングの見直しを行い、有価証券報告書を株主総会前に開示することも有用
- 海外投資家向けに、日本語だけではなく、英語での情報発信も行うことが重要
- 一覧表を使用する場合、画像形式で掲載するとテキストとして取込み分析することができないため、画像ではなくテキストで記載することが有用 (追加)

※「記述情報の開示の好事例に関する勉強会」に参加の投資家・アナリスト・有識者(以下同じ)

！ 開示の好事例としての公表をもって、開示例の記載内容に誤りが含まれていないことを保証するものではありません。